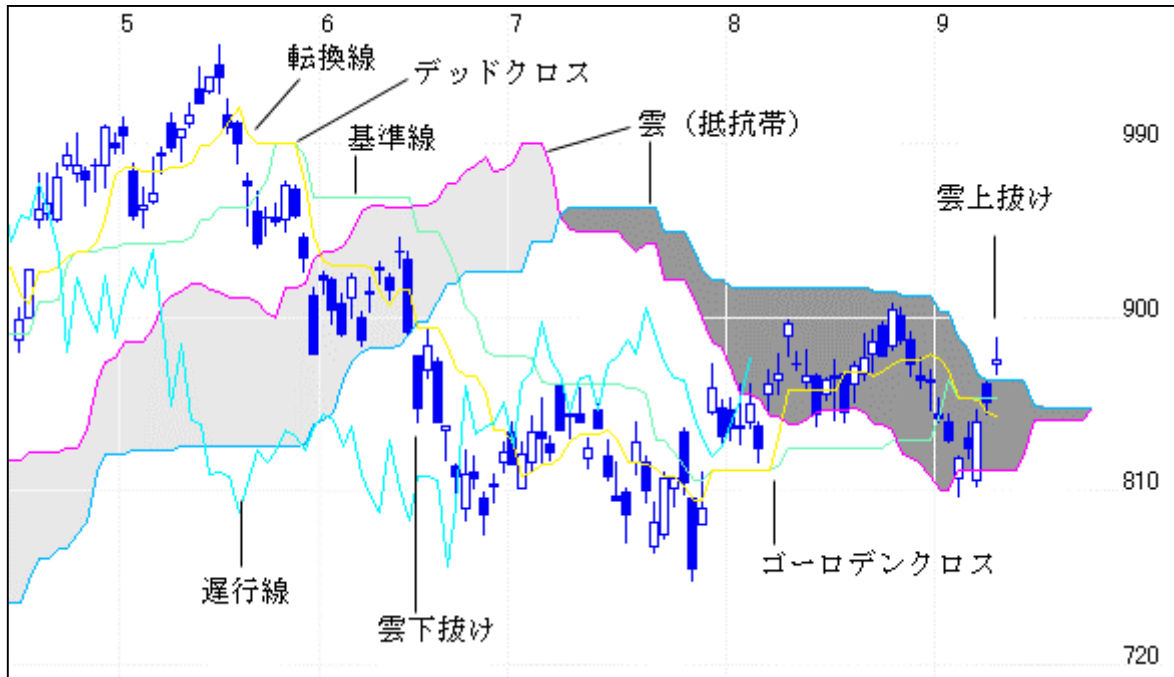


## 一目均衡表

今回は一目均衡表の基本的な見方（解釈のしかた）を習得したいと思います。一目均衡表とは、一目山人が開発した波動・時間・株価水準を総合的に取り入れたチャートで、相場のバランスを視覚的に表現したものです。大きな特徴の一つとして、時間の概念を取り入れていることが上げられます。

一目均衡表日足チャート



### 【基準線と転換線の位置関係】

「基準線」よりも「転換線」の方が上 → 相場は**上昇トレンド**

「基準線」よりも「転換線」の方が下 → 相場は**下降トレンド**

「基準線が転換線の下にあれば押し目買いスタンス、上にあれば戻り売りスタンスと見ます」

基準線に対して転換線が下から上へと突き抜けた場合 → **ゴールデン・クロス = 買い**

基準線に対して転換線が上から下へと突き抜けた場合 → **デッド・クロス = 売り**

「また、基準線・転換線はサポート・ライン（支持線・抵抗線）としても用いられます」

### 【先行スパン】

先行スパン2本の間を「雲」と呼び、これを支持帯あるいは抵抗帯と見ます

#### 【相場が先行スパンの雲を上へ突き抜けた場合】

相場は好転したと判断し、ここを**買いサイン**とします

#### 【相場が先行スパンの雲を下へ突き抜けた場合】

相場は暗転したと判断し、ここを**売りサイン**とします。

雲のねじれの上や下をローソク足が通過するとき相場に波乱が生じる可能性が大きいといわれます

### 【遅行線】

26日前の相場そのものと現在の相場を比較し、その位置関係によって買い、売りを判断します。

26日過去に遡った時点の相場を遅行線が下から上に突き抜けた場合 → **買い**

26日過去に遡った時点の相場を遅行線が上から下に突き抜けた場合 → **売り**

基本的解釈は以上ようになります。次回からはより詳しい解説へ入りたいと考えています。